



海氷の向こう側へ！日本初の砕氷研究船！

「みらいⅡ」建造状況と運用準備

建造工程

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
★建造契約締結（8月）	★起工式（3月） 詳細（機能）設計	生産設計	加工・組立（ドック工事） ★進水・命名式（3月）	★艦装（岸壁工事）	★引渡予定（12月） →海上試運転

※建造工程は今後変更の可能性あり

2021年8月にジャパン マリンユナイテッド株式会社（JMU）と建造契約を締結し、JMU 横浜事業所磯子工場において建造を開始いたしました。

その後、詳細設計、鋼材の加工、ブロック組立等を経て、2024年9月から、磯子工場の建造ドックにおいてブロック搭載工事を進め、2025年3月に進水を迎えました。

進水後は同工場内の艦装岸壁に係留し、船内電線・配管の敷設、内装工事、観測機器・設備の設置などを進めています。その間に4回の入渠工事や、2026年6月以降は海上試運転を経て、「みらいⅡ」は2026年12月18日に引渡される予定です。

最新の建造状況



SNS

WEBサイト

<https://www.jamstec.go.jp/parv/j/>



YouTube



【公式】COMAI 先生とみらいⅡ
@ARV_MR2_COMAI



引渡し後の慣熟（トレーニング）航海計画

※各航海計画は今後変更の可能性あり

慣熟航海①（日本近海）

日程：2026/12/28～2027/1/6（10日間）

目的：各種機器の運用訓練、作動確認等

観測ウィンチケーブルフリーフォール、CTD 採水、係留系設置・回収、ピストンコア採泥、ROV 潜航、垂直式ネット（VMPS）、船底音響機器試験、その他

慣熟航海②（外航含む熱帯域）

日程：2027/1/10～2/3（25日間）

目的：連続採水、熱帯域観測訓練

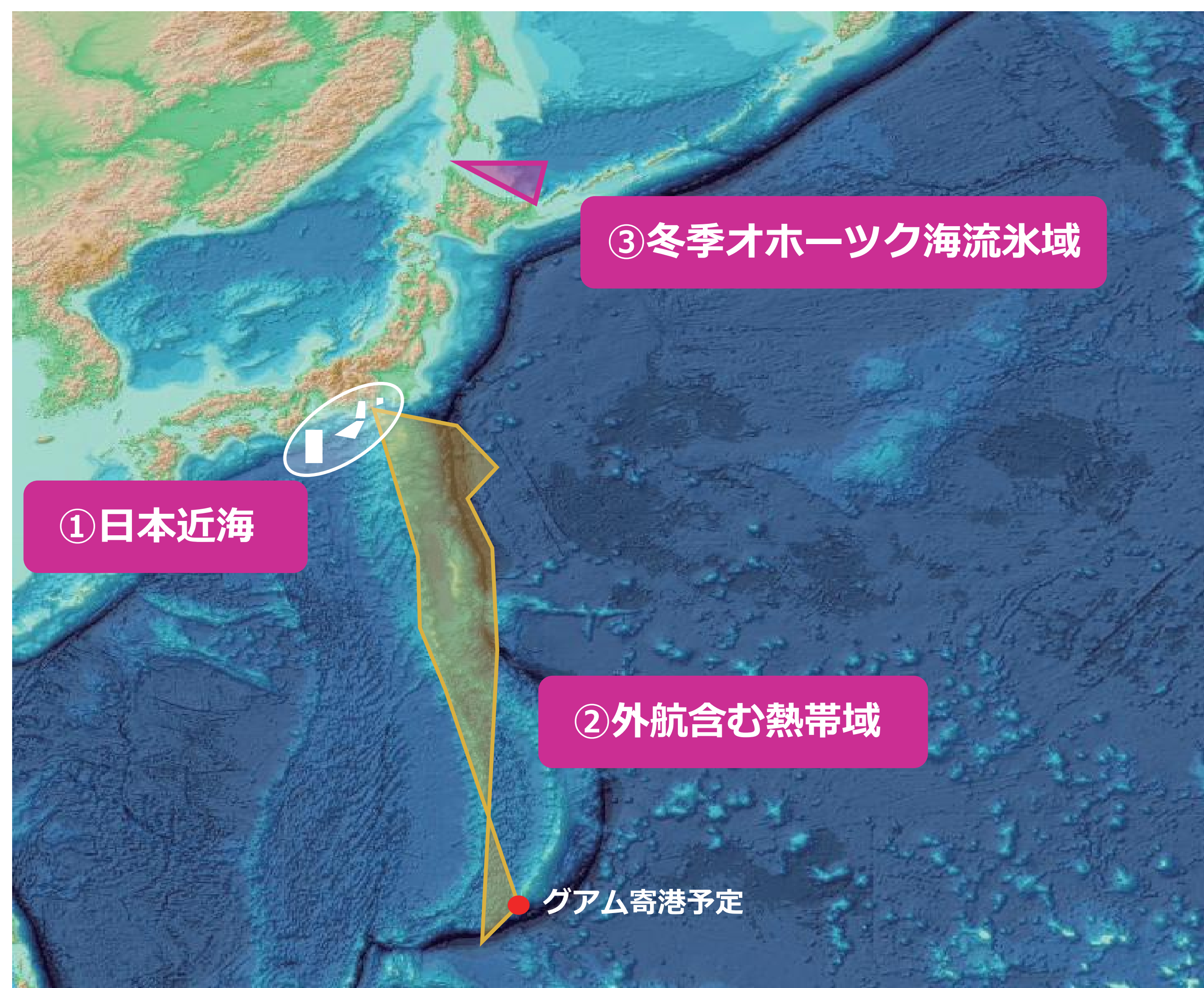
連続 CTD 採水・分析作業、ドップラーレーダー運転、アルゴフロート投入・回収、ウェーブグライダー投入・回収、係留系設置・回収、その他

慣熟航海③（冬季オホーツク海流氷域）

日程：2027/2/11～3/9（27日間）

目的：アイストライアル及び海氷域における観測訓練

氷海（砕氷）航行、CTD 観測、垂直式ネット（VMPS）、採泥、海氷サンプリング（マンライディングバスケット運用含む）、波浪ブイ氷上設置・回収、その他



画像出典：GEBCO (General Bathymetric Chart of the Oceans)